

例会報告：2012年9月4日（晴）第1765回年通常例会

【続き】 戦略的空白とは相手の力に対し我々が持っていない場所です。

しかしロシアが衰退し中国が発展している状態で、その軸足を変えていかなければならない、2番目は国家主体による新たな戦力均衡にどうやって対応していくかというのが日本のテーマになっております。我々は矛盾した組織であると思います。それは私たちの任務としては日本を守るために日々訓練をしています。その戦争が無いことを祈っております。



ニコニコ箱

大木 清委員

	ニコニコ箱	累計	目標
9月4日分	17,000	234,500	1,300,000

*その他

清 康夫さん…当社（株）フジミ、6月決算が終わり、良い結果が出たので5営業所の外装リフォームが出来ました。少々ニコニコへ。

菊地 義雄さん…8月21日ゴルフで杉崎杯を取り切りました。家宝にします。

中村 維孝さん…久しぶりに小田原へ帰って来ました。ご迷惑をおかけします。奥様誕生日、素敵なお花ありがとうございました。沖縄にてのプロジェクトが大型助成金事業に採択されました。

須賀 俊和さん…来週月曜日からタイに出張しますので例会は欠席させていただきます。委員会の皆様ごめんなさい。

大川 誠さん…すみません、本日途中退席させていただきます。

上田 博和さん…先日、南熱海RCにて「会員増強」の手法について卓話をさせていただきました。今年度は会員増強を担う委員会にも所属させていただきましたのでなんとか2名程は入会させたいと思います。

金山 慶昭さん・剣持 悟さん…本日NHKのBS1で5時からジソンが「ほっとアジア」に生出演いたします。ご報告いたします。

今後のメーキャップ情報

- 2012年9月-
- 12日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話:鈴木 倭介AG」
小田原城北RAC マロニエ204 19:30
 - 13日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話: 谷口 弘美様(健康管理士一般指導員)」「骨盤の歪みと慢性痛の関連について」
 - 14日(金) **湯河原** (下草刈り) M.U.受付なし
足柄 おんりーゆー 12:30
「クラブ・フォーラム」
 - 17日(月) **小田原** 休日休会
 - 18日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話: 村上 隆会員/湘南サーブセンター社長」
 - 19日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話: 柴田 勲様(元巨人選手)」
 - 20日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話: 井上 泰延様/関東財務局横浜財務事務所長」「神奈川県内の経済情勢について」
 - 21日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話: 府川 清会員」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:鈴木 倭介AG」
 - 23日(日) **小田原城北RAC** 宗沢公園 13:00~15:00
「宗沢公園清掃」
 - 24日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「クラブ・フォーラム」
 - 25日(火) **箱根** M.U.受付なし
「家族親睦会」
 - 26日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「ガバナー公式訪問」
小田原城北RAC マロニエ204 19:30
「卓話: 小川 和夫小田原城北RC会員」
 - 27日(木) **小田原中** 報徳会館 17:30
「クラブ・フォーラム/ロータリー財団・米山奨学セミナー報告」
 - 28日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話: 神谷 一博会員」
足柄 おんりーゆー 12:30
「ガバナー公式訪問」
- 2012年10月-
- 1日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「卓話: 村上 繁郎様/JCN小田原天気キャスター/気象・地形・自然災害」
 - 2日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話: 辻内 和七郎会員/箱根温泉供給(株)社長」
 - 3日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話: 江成 健一会員・伊東 昌彦会員」
 - 4日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話: 米山学友(予定)/テーマ未定」
 - 5日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話: 土屋 一弘会員/南土屋商店社長」
足柄 おんりーゆー 12:30
「会員の卓話」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30~13:30
 クラブ会報委員会
 監修：久保田 知子
 編集長：須賀 俊和
 コピーライター：大川 誠
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：48名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
 ODAWARA JOHOKU R.C.
 2012-2013
 WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
 田中 作次
 【R.I. 2780地区ガバナー】
 菅原 光志
 【第9グループガバナー補佐】
 鈴木 倭介



【会長】小嶋 章司
 【副会長】中野 明
 【幹事】久保田 知子
 【副幹事】大川 久弥
 【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を

PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1766回）

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2012年9月11日 12:30~13:30
 司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱
13:00	担当：プログラム委員会 卓話：会員 「私の10代」
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

MEMO

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

9月18日 クラブ協議会 12:30

担当：執行部
 卓話：鈴木 倭介ガバナー補佐
 「RIテーマ・地区運営委・地区活動」



9月25日 ガバナー公式訪問 12:30~14:30 (60分延長)

担当：執行部
 卓話：菅原 光志(みつゆき)
 2012~13年度ガバナー



「ガバナー公式訪問」

10月2日 通常例会(RC) 12:30

担当：プログラム委員会
 卓話：北田 英治様
 (株)浜銀総合研究所 調査部部長・主任研究員



「未定」

10月9日 通常例会(RC) 12:30

担当：杉崎 勝成会員
 卓話：蕭淑麗様(シウ・ソックリー)(女性)
 通称：judy(ジユディ)
 国籍：マレーシア・神奈川大学 世話クラブ：平塚北RC

「未定」

Photo...ゴルフ同好会（2012年8月21日）



例会報告：2012年9月4日（晴）第1765回通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:45

◆ 会長挨拶

小嶋 章司 会長



Rotary Youth Leadership Awarde (ロータリー・ユース・リーダーシップ・アワード)、ロータリー青少年指導者プログラム (RYLA) は年齢14才～18才までならびに19才～30才までの若い人のためのRI常設プログラムである。年齢により2つのグループとした目的は異なるニーズと成熟度のレベルに合うようにするためである。RI理事会は社会的・経済的にえまれないが指導者としての資質を備えた青少年をRILAプログラムに参加させるようクラブに奨励している。

RILAは若い人々の指導力および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としている。RILAはクラブまたは地区レベルで実地できるがほとんどセミナーが指導者キャンプ (合宿) の方式に基づく。

- 「目標として」
- 1)ロータリーが青少年を重視しかつ青少年に関心を抱いていることを明らかにすること。
 - 2)選ばれた青少年指導者およびその素質のある人に実地訓練を体験させ責任ある有能なボランティア青少年となる方法を身につけるよう激励・援助する。
 - 3)青少年による青少年への絶えざる力強い指導を奨励すること。
 - 4)青少年のリーダーとして地域社会に尽くして多数の青少年の優れた資質を公に表彰すること。

私は入会して3年目の大木さんが会長の時に新世代奉仕委員会の委員長に拝命されました。当時の委員会のメーンはRYLAでした。1999年4月11日



～12日相模川ビレッジ若あゆに石内さんと当クラブから3人の青年・水口博安君・藤原達夫君・長田龍典君といきました。講演はまさかり投法の元口ツテの村田兆司さんの「努力は報われる」だったと思います。それから数十年たったある日、さがみ信金の豊川支店長とお会いしたとき支店長の口から「小嶋さん数十年前のRYLAでは大変にお世話になりました。おかげさまで支店長になりました。」と言われておぼろげながら思い出しました。

RILAは当2780地区では2005年以後開催されていません。なぜ止めてしまったのか今後どうするかガバナー訪問の時に聞きたいです。

◆ 幹事報告

久保田 知子 幹事



- 1)8月2日の納涼例会の決算が承認されました。
- 2)出席委員会委員長に安藤さんに後任を引き受けていただきました。
- 3)GSE団長として中野副会長が、平成25年4月20日から5月20日にアメリカ、ノースカロライナ7720地区に派遣されることになりました。
- 4)本日の卓話は15分延長ですので、13時45分例会終了になります。

◆ 出席報告

安藤 克己 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月4日	48(46)	41	0	88.89%
8月28日	48(46)	41	1	91.30%
8月21日	48(44)	37	2	88.64%

【欠席者】 5名
田代 博信、木村 啓滋、石橋 徹、須藤 公司、内山 修一
【今回MU】 0名
【前回MU】 増加無し
【前々回MU】 増加無し

◆ Table Flower

- サンダーソニア
- フレモコウ
- ソリタコ
- シンフォリカリオス

「サンダーソニア」の花言葉は、「愛嬌」「祈り」「共感」「望郷」「祝福」「福音」「純粋な愛」
南アフリカのナタール地方で1851年に発見され、発見者のサンダーソンにちなんで名づけられた。



http://www.hanakotoba.name/archives/2005/09/post_312.html

◆ 卓話

「自衛隊の災害派遣と日本の防衛について」

自衛隊 第一高射特科大隊長 矢口 鑑 様



まず私の経歴ですが、防衛大学校を卒業して幹部になりました。防衛大学校で学んだのは忍耐です。服従することを学びました。まずは上から言われたことを服従しろと、そこからスタートするというのを叩き込まれて幹部になりました。高射特科大隊に入った後は地下鉄サリン事件の対応をしました。当時山梨に第7サティアンがあり、そこにサリンをヘリでまくという話がありました。その時に高射大隊に動員があり、弾薬を積む準備をし、編成を作れ。そうすると戦争なんか起こらないよと感じた者が多数いました。若い人間は全然使い物になりません。他の中隊の別の機材を扱っていて、昔機関砲を扱っていた人を組み替えて年寄グループだけで編成を組みました。私はその時小隊長だったのですが、まさかと思い、足がふるふる震えて冷や汗がたらたらしていたのを今でも覚えております。その時に感じたのが、日頃の準備、これが一番大事だということに感じ、それが今の大隊長としての根本になっています。

まず自衛隊の任務の大まかな所から紹介をさせていただきます。我々の任務については「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、直接侵略及び、間接侵略に対し我が国を防衛することを主たる任務とする」これは人



を守るのではなく、国を守るのです。ここが少し違う所があります。そして必要に応じ公共の秩序をします。自衛隊の主な任務は防衛出動です。戦争になった時に戦います。従たる任務は、災害派遣とか北朝鮮の弾道ミサイル対処などがあります。主と従の違いはいつかとなった時にどちらを選ぶかです。東日本のような大地震が発生した時に、上の国や中国が来た時には災害派遣はほったらかしにして全部後者に対応します。これが違いです。

その他はオリンピックの協力などです。本来任務以外のものは部隊では日頃訓練はしていません。その時になって初めて練習等します。

災害派遣については通常都道府県知事の要請に基づいて災害派遣します。その代り、明らかに通信が途絶えているなど知事と連絡が取れない時には自主派遣をします。地震が起こった時の被害想定は政府が決めております。此処で地震が起こった時に何万人が死んでしまう、どれだけの家屋が崩壊するなど政府が決定します。それに基づいて各省庁がそれに対応するためのお金をつぎ込んで整備します。東日本大震災での政府が想定していたのは死者2,700人、今回発生したのは死者約2万人ですので、想定外という所以です。

首都直下型では自衛隊はどんな計画を作っているかという、被害の規模は1万1千人という判断で政府は作っています。今後政府は修正して15万人亡くなるという計画を作っていくと思います。

自衛隊というのは全国津々浦々駐屯します。こういう大きな地震になるとどうしても部隊を集中しなくてははいけません。2日以内に4～5部隊が東京に集中します。7日以内にはほとんどの部隊が東京地域に準備します。陸上自衛隊でいえば14万5千人程いますが、そのうちの11万人が都内に集中します。普段自衛隊はどういう体制をとっているかという、一部の人間達で常時24時間体制をとっております。ヘリであれば震度5弱になったら自動的に飛ぶようにします。ちなみに海上自衛隊でも1～2時間で艦艇を待機させます。航空自衛隊についても輸送機などを待機させます。この他にも航空自衛隊についてはスクランブル体制ということで領空侵犯に対応するために常時戦闘機等を待機させています。

(約15分の東日本大震災での自衛隊の活動状況についてのビデオ上映)

東日本大震災では想定をはるかに上回る2万人でした。そして原子力と津波地震これがダブルで来ました。今回米軍が友達作戦と称し非常に好意的にやってくれました。米軍は当初演習訓練を色々な所でやっておりました。その余った勢力でやるのかと思いきや、福島第2原発が大変な時に自衛隊のヘリコプターが放水をしたのを見て、日本人は本気だ、彼らは命を張って国民を守ろうという意識がある。その意識が米軍を動かし、訓練を全部中止して全てを福島にという大号令がかかり、この友達作戦が始まったそうです。

我々自衛隊の部隊は全部が被災地に行ったわけではありません。首都圏、南西諸島、緊要となるところなど残ってスクランブル対応をしておりました。震災後各国から哀悼の意を表する、何でも支援するという声明が出されました。それはありがたいのですが、その一方でスクランブルをかけてくる、領空侵犯をしてくる。なぜかという、日本という国がこの災害の中で国防という監視体制を取る状態にあるかどうかを外国の部隊としては把握をするのです。もし間違ってもスクランブルの対応を間違っていたら諸外国は、日本はたいしたことないという意識が出来てしまうのです。ですから警戒態勢を怠らない体制をとらなければならないのです。



ロシア最盛期、彼らが太平洋に出て米軍に対するために出なければならぬ出口が3つありました。ですから冷戦期の我々の海上自衛隊はこの3つを抑えることに終始しました。海底にセンサーを巡らせ一隻一隻全部把握しました。その時中国はあまり関係がありませんでしたので南西諸島に戦略的空白が生まれていました。【裏面へ続く…】